

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 保育原理 I	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 青田 由美子	当該科目に関する実務経験 保育士
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (2 単位)	配当学年・時期 1 年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期」に保育士として子どもにかかわることを常に胸に刻み、保育とは何かを学んでいく。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の意義、基本的原理、歴史と現状、課題、様々な保育思想などの基本知識を学ぶ。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育とは何か、子ども観、保育環境、保育内容と方法、保育の計画など保育の全体像について理解する。また、現状において保育者に求められることは何かなどについて、自分なりに考察できる。 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育について：保育の理念、子どものための保育、保育所・保育士の社会的役割 2 子どもと保育に関する法令：子ども家庭福祉における保育と法令 子ども・子育て新制度 3 保育所とは①保育所保育指針とは？・保育所の役割と目的 4 保育における「育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が求められるのは？ 5 保育に関わるねらい及び内容①乳児保育に関わるねらい及び内容 6 保育に関わるねらい及び内容②3歳以上児に関するねらい及び内容 7 保育所と小学校の連携強化 その背景と実際 8 幼稚園について学ぶ 9 幼保連携型認定こども園について学ぶ① (目的・目標・内容) 10 幼保連携型認定こども園について学ぶ② (こども園の教育と保育・子育て支援) 11 保育所保育の方法 (環境を通して行う保育の必要性) 12 保育の計画と評価① (計画・実践・評価・改善) 13 部分実習指導案の立て方 14 部分指導案の作成 (保育実習 I を想定して) 15 期末試験 			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育原理 子どもの保育の基本理論の理解 (萌文書林) ・ 保育所保育指針解説書 (フレーベル館) ・ 幼稚園教育要領解説 (フレーベル館) 			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点 (75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 			